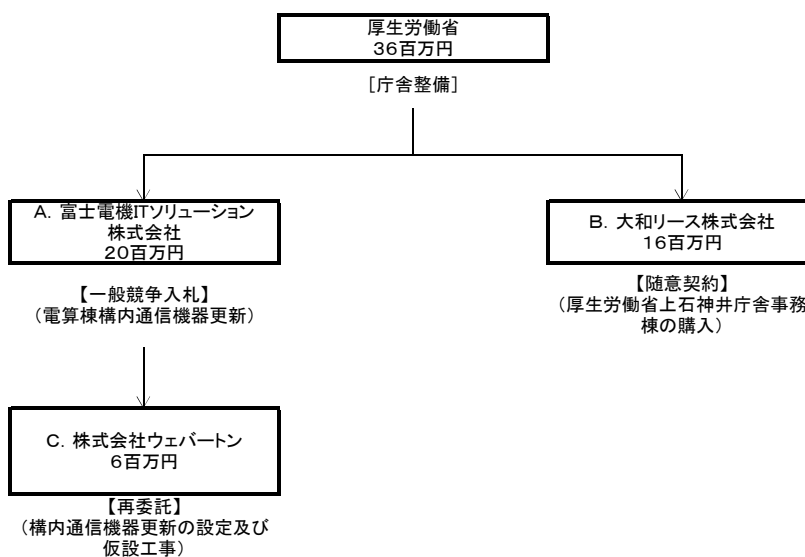


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	労働行政コンピュータ施設の整備			担当部局	職業安定局	作成責任者		
事業開始年度	平成12年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	労働市場センター業務室	労働市場センター業務室長 藤井 礼一		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定			政策・施策名	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	官公庁施設の建設等に関する法律第9、11条			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3程度以内)	上石神井庁舎は事務棟、電算棟からなる庁舎で、電算棟には労働行政にかかるシステム及びその安定的な運用を行うための様々な設備、機器等が設置されている。必要な施設整備を行うことで円滑な行政事務の遂行及びシステムの安定稼働に資することを目的としている。							
事業概要 (5程度以内。別添可)	主な事業内容は、事務棟、電算棟等の設備の改修、電気工事、附帯設備工事及び経年劣化した設備の更新である。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		当初予算	22	48	68	0	0	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	354	-	-	20		
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 20	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	376	48	48	20	0		
	執行額	270	32	36				
執行率 (%)	72%	67%	75%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	各年度に予定された工事を確実に実施する。	工事の予定件数に対する実施件数の割合	成果実績	件	4	3	1	
			目標値	件	4	3	2	1
			達成度	%	100%	100%	50%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	工事実施件数	活動実績	件	4	3	1		
		当初見込み	件	4	3	2	1	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	執行額/工事件数	単位当たりコスト	百万円	68	11	34	20	
		計算式	執行額/工事件数		271百万円/4件	32百万円/3件	68百万円/2件	20百万円/1件
平成27-28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	工事費	0	0					
	不動産購入費	0	0					
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	全国で運用する労働行政関係システムを設置する施設の整備事業であり、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国の所有する施設の整備であり、国が実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	労働行政の効率的な実施のためシステムが使用されており、当該システムを設置する施設の整備事業であり優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	厚生労働省上石神井庁舎事務棟購入については、賃貸借期間終了に伴い新事務棟の建設や賃貸借延長と比較して、費用対効果の観点から最も効率的な方法であるため、随意契約により購入した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	労働者・事業主が負担する雇用保険料を財源としており、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即したものに使用されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	不用が発生した理由は、入札差金の発生に伴うものである。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	上石神井庁舎外構整備について、設計や仕様の決定に時間を要したため、27年度に繰り越しの上実施する。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	上石神井庁舎外構整備について、設計や仕様の決定に時間を要したため、27年度に繰り越しの上実施する。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	全国で運用する労働行政関係システムの安定稼働に寄与し、十分に活用されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	国費投入の必要性については、全国で運用する労働行政関係システムを設置する施設の整備事業であり、広く国民のニーズがある。国の所有する施設の整備であり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。事業の効率性については、一般競争入札により業者の選定を行い支出している。事業の有効性については、全国で運用する労働行政関係システムの安定稼働に寄与し、十分に活用されている。				
	改善の方向性	当予算は労働行政に係るシステムの安定的な運用を確保するために、施設の整備や経年劣化した設備の更新等を行うものであり今後も計画的な修繕、整備を行うとともに引き続き一般競争入札により業者の選定を行い、効率的な執行を行うこととしたい。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	730	平成23年度	730	平成24年度	640	
平成25年度	939	平成26年度	938			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 富士通ITソリューション株式会社					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	電算棟構内通信機器更新	20			
計		20	計		0
B. 大和リース株式会社					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
不動産購入費	厚生労働省上石神井庁舎事務棟の購入	16			
計		16	計		0
C. 株式会社ウェバートン					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	構内通信機器更新の設定及び仮設工事	6			
計		6	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士電機ITソリューション株式会社	電算棟構内通信機器更新	20	1	75.8%
2					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和リース株式会社	厚生労働省上石神井庁舎事務棟の購入	16	随意契約	-
2					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ウェバートン	構内通信機器更新の設定及び仮設工事	6	-	-
2					